

# 福島経済マンスリー

7月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

## 1. 平成28年7月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いていることに加え、公共投資に頭打ち感がみられるが、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では16ヵ月連続して前年比で増加した。また、新車登録台数は、3ヵ月ぶりで前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が6ヵ月ぶり、保証金額と請負金額が2ヵ月連続でいずれも前年を下回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数が2ヵ月連続、床面積が3ヵ月ぶり、工事費予定額が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。		
住宅投資	県内新設住宅着工戸数は2ヵ月ぶりで前年を上回った。分譲が11ヵ月連続、持家が3ヵ月ぶり、貸家が2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月ぶりで上昇したものの、前年比が7ヵ月連続で下降した。業種別の前月比をみると、15業種が上昇したが、4業種が下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月を0.03ポイント、原数値が前年を0.08ポイントそれぞれ下回った。一方、雇用保険受給者実人員は前年を6.7%下回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は6月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%)

	項 目	前 年 同 月 比					
		28年2月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	4.1	1.2	2.2	0.7	0.7	P 2.3
	乗用車新車登録台数	△ 1.5	△ 13.8	2.3	△ 2.4	△ 4.1	1.5
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 75.5	△ 16.0	△ 22.9	64.0	△ 22.1	△ 24.3
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 4.6	△ 59.8	△ 4.2	12.9	△ 51.6	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	18.4	53.6	49.6	11.1	△ 11.1	18.9
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 0.1	△ 4.4	△ 2.7	△ 1.1	△ 3.3	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.04	△ 0.03	0.01	△ 0.01	0.01	△ 0.08
	雇用保険受給者実人員	2.1	1.3	△ 1.6	0.6	△ 5.1	△ 6.7

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：%)

	項 目	前 月 比					
		28年2月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 9.0	9.3	△ 5.1	4.9	△ 5.9	P 5.6
	乗用車新車登録台数	14.6	45.6	△ 48.2	△ 3.2	24.4	△ 6.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 61.0	236.1	△ 14.3	33.0	4.0	△ 45.8
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	19.5	△ 57.4	271.3	△ 6.5	△ 38.1	—
住宅投資	新設住宅着工戸数	16.3	8.7	28.0	△ 13.8	△ 8.2	13.7
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.3	△ 1.8	1.0	△ 5.4	1.8	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.03	△ 0.06	0.08	0.02	△ 0.04	△ 0.03
	雇用保険受給者実人員	2.5	0.9	△ 4.5	10.8	5.1	△ 1.4

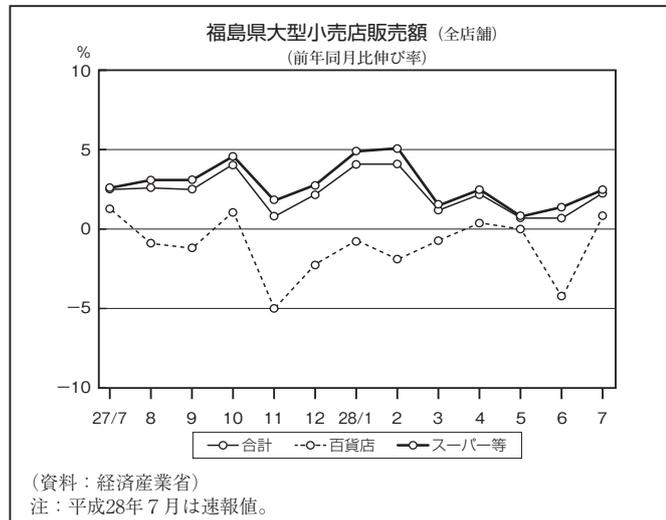
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

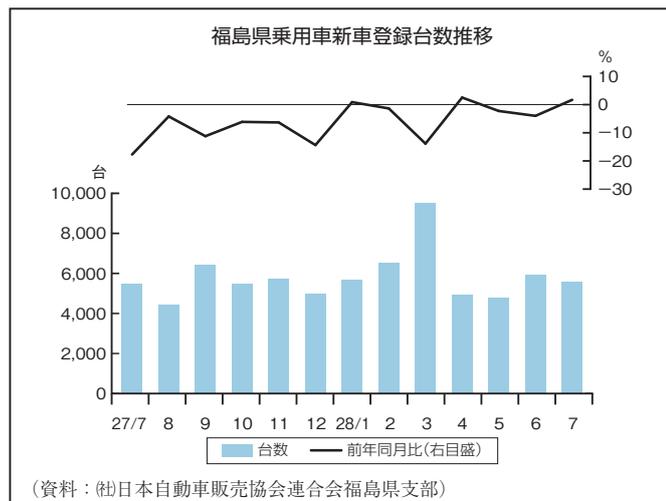
##### 大型小売店：16ヵ月連続で前年比増

7月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース、速報値）は、合計で211億96百万円（前年同月比+2.3%）と16ヵ月連続で前年を上回った。業態別でみると、百貨店は、宝飾品などが前年を上回ったことから、合計では同+0.9%となった。また、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+2.5%となった。



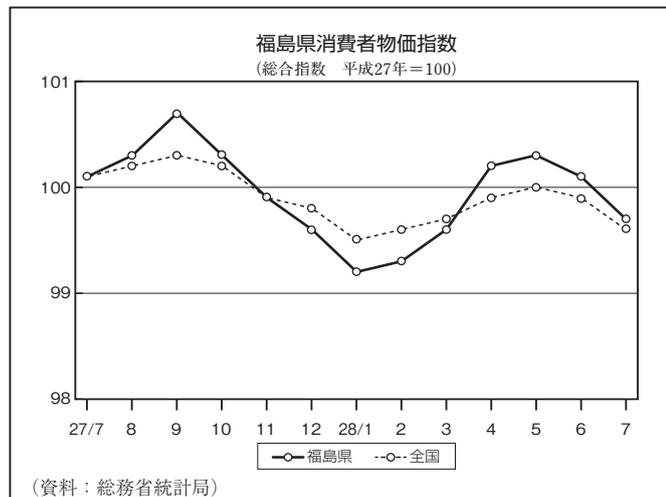
##### 乗用車販売：3ヵ月ぶりで前年比増

7月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,568台（前年同月比+1.5%）となり、3ヵ月ぶりで前年を上回った。車種別でみると、普通車が1,972台（同+7.2%）と4ヵ月連続、軽乗用車が1,827台（同+3.3%）と19ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。一方、小型車が1,769台（同△5.7%）と7ヵ月連続で前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比、前月比とも下降

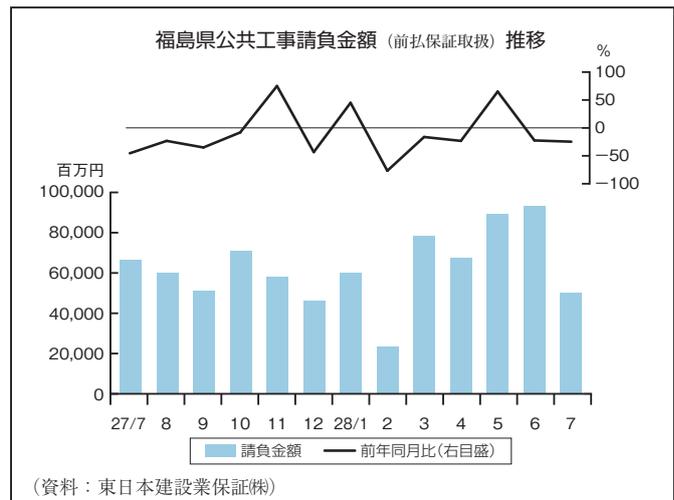
7月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成27年=100）でみると、99.7で前年同月比△0.3%、前月比△0.4%となった。費目別に前月比でみると、「被服及び履物」が98.8（同△4.4%）など6費目で下降した。



公共投資

公共工事：請負額は2ヵ月連続で前年比減

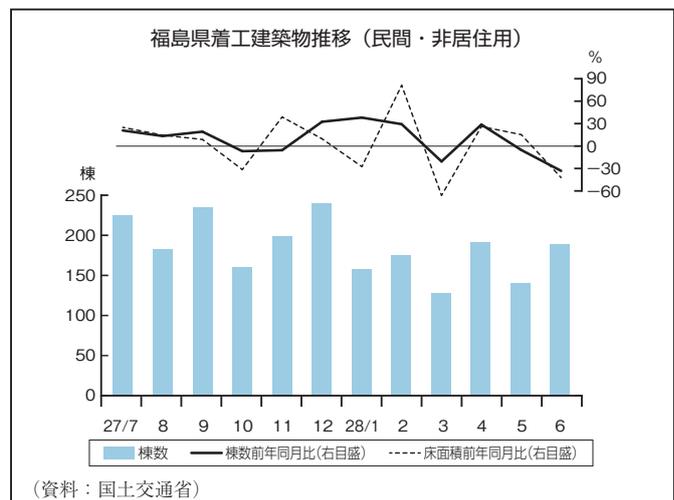
7月の公共工事前払保証取扱は、件数が816件（前年同月比△9.7%）と6ヵ月ぶり、保証金額が257億7百万円（同△20.1%）、請負金額が507億35百万円（同△24.3%）と2ヵ月連続でいずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2ヵ月ぶりで前年比減

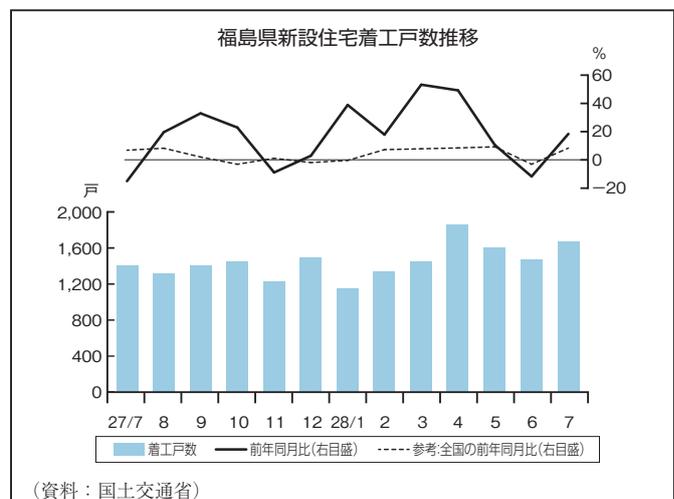
6月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が189棟（前年同月比△33.0%）と2ヵ月連続、床面積が77,773㎡（同△41.9%）と3ヵ月ぶり、工事費予定額が128億25百万円（同△51.6%）と2ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：2ヵ月ぶりで前年比増

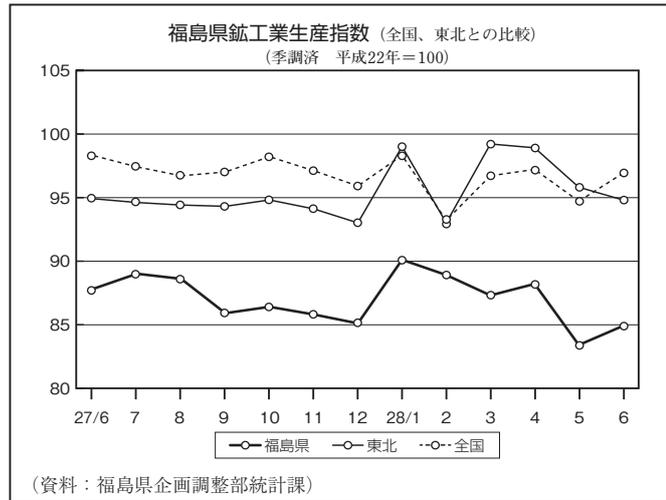
7月の県内新設住宅着工戸数は、1,676戸（前年同月比+18.9%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。主な利用関係別にみると、「持家」が715戸（同+5.9%）と3ヵ月ぶり、「貸家」が717戸（同+9.0%）と2ヵ月ぶり、「分譲」は225戸（同+196.1%）と11ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比は下降、前月比は上昇

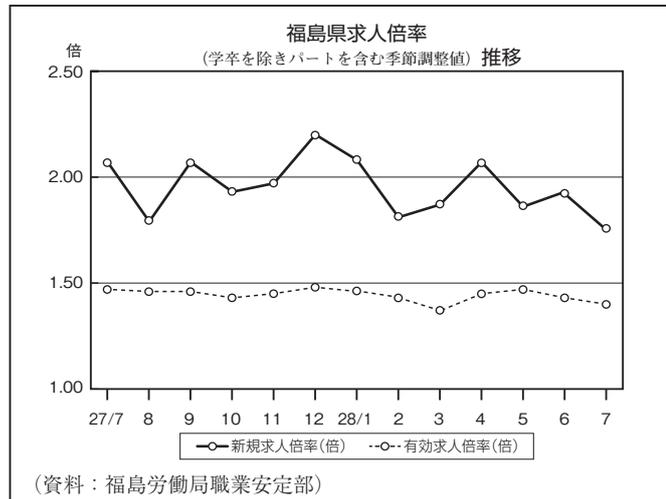
6月の鉱工業生産指数は、84.9（季節調整値）で前月比+1.8%と2ヵ月ぶりで前月を上回ったが、原指数が89.1で前年比△3.3%と7ヵ月連続で前年を下回った。業種別の季節調整値をみると、「木材・木製品工業」（前月比+25.0%）など15業種で上昇したが、「化学工業」（同△2.3%）など4業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：雇用保険受給者は前年比減

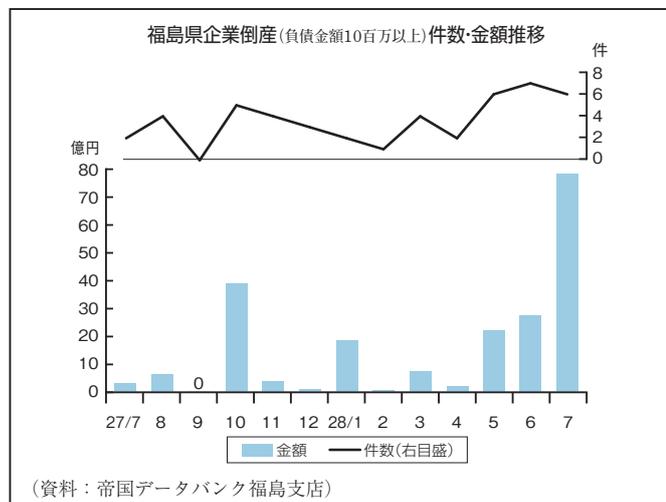
7月の新規求人倍率は、季節調整値が1.76倍（前月比△0.17ポイント）、原数値が2.03倍（前年同月比△0.29ポイント）となった。また、7月の有効求人倍率は、季節調整値が1.40倍（前月比△0.03ポイント）、原数値が1.37倍（前年同月比△0.08ポイント）となった。また、7月の雇用保険受給者実人員は6,538人（前年同月比△6.7%）で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数、金額とも前年比増

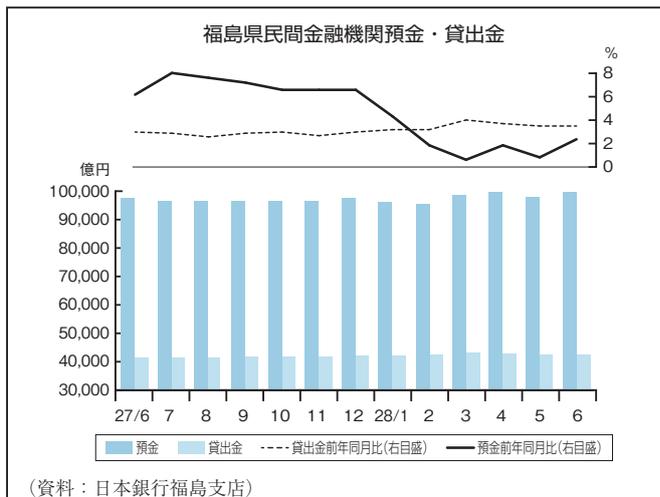
7月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が6件（前年同月比+200.0%）、負債総額が78億35百万円（同+3,009.1%）となり、件数、負債総額とも前年を大きく上回った。業種別では、小売業が3件、製造業が2件、不動産業が1件となった。



金融動向

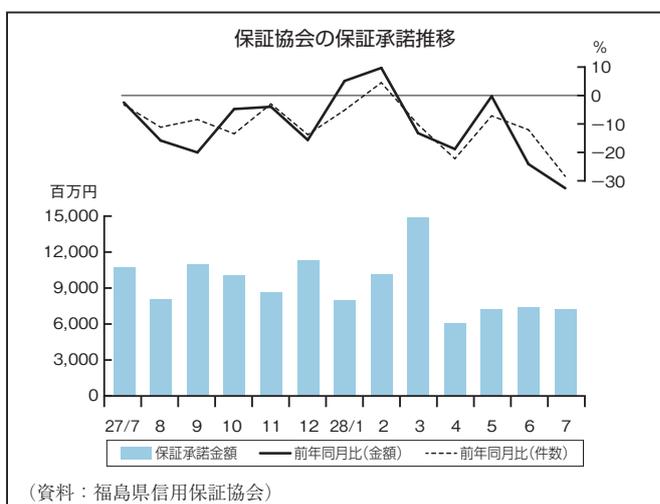
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の7月末の預金残高は、9兆9,049億円（前年同月比+2.4%）と9年5ヵ月連続、貸出金残高は、4兆2,960億円（同+3.9%）と38ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：代位弁済は件数、金額とも前年比減

7月の保証承諾は、件数が628件（前年同月比△28.5%）、保証金額が72億20百万円（同△32.7%）となった。また、7月末日現在の保証債務残高は、件数39,785件（同△8.2%）、金額3,446億28百万円（同△9.2%）となった。一方、7月中の代位弁済は、件数が33件（同△25.0%）、金額が2億10百万円（同△49.8%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電量販店** 7月の家電量販店の売上高は、テレビや洗濯機などが前年を上回ったものの、エアコンの落ち込みが大きかったことから、合計では前年を5%ほど下回った。

**ホームセンター** 7月のホームセンターの売上高は、園芸や家庭用品などが前年を上回ったものの、作業用品やエクステリアなどが前年を下回ったことから、合計では前年をわずかに下回った。

**旅行** 7月の旅行取扱額は、国内、国外とも団体

を中心に前年を下回ったことから、合計では前年比で20%ほど減少した。

**高速道路** 7月の県内自動車道出入台数は、合計で5,556,327台（前年同月比+0.2%）と、3ヵ月ぶりで前年を上回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～山元IC）は1,781,343台（同+3.4%）と29ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は404,852台（同+0.2%）と4ヵ月ぶりでそれぞれ前年を上回った。一方、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,769,003台（同△0.7%）と2ヵ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は601,129台（同△4.1%）と7ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

**福島空港** 7月の福島空港国内定期路線の利用状況は、21,760人（前年同月比+1.6%）と前年を上回った。路線別にみると、札幌便は8,747人（同△0.9%）、大阪便は13,013人（同+3.3%）となった。  
 （国際定期路線は全便運休）

**生産活動**

**化学** 7月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国の関税税率引き上げ前の駆け込み需要などから、合計では前年をやや上回る生産となった。

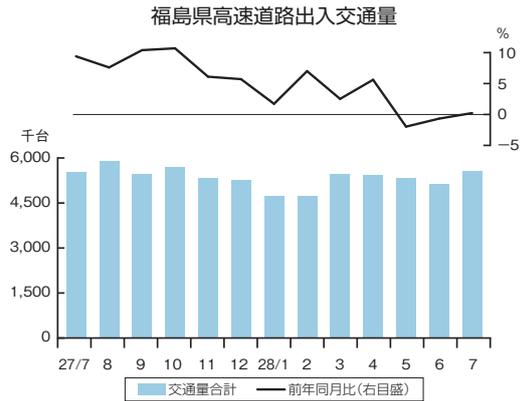
**鉄鋼・金属** 7月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が海外受注の下支えにより、前年を5%以上上回る生産水準となった。また、半導体向け電子材は、受注量に回復の動きがみられ始め、前年を30%程度上回る生産となった。7月の建機用鋳造品は、中国からの受注減少が続いていることなどから、前年を60%以上下回る生産となった。陸船用バルブは、船舶向けの受注量が増加したことなどから、生産額は前年を30%ほど上回った。

**輸送用機械** 7月の鋳造品は、トラック用では、インドネシアなどの新興国による受注が減少しており、合計では前年を20%以上下回る生産となった。一方、オイルシールは、国内の自動車販売市場が回復し始めたことなどから、全体では計画を上回る生産となった。

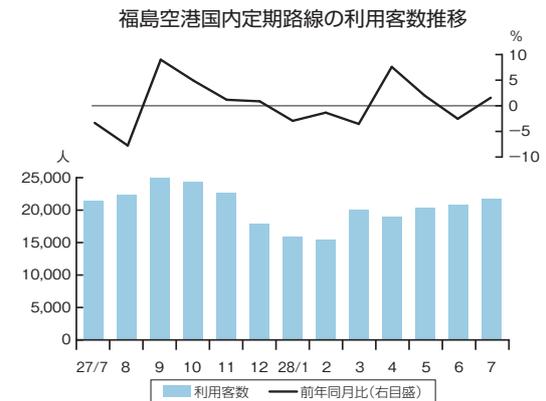
**電気機械** 7月の電気機械の生産は、配電盤などが前年を下回ったものの、変圧器が前年を大きく上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

**情報通信機械** 7月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）、国内向けモバイル基地局がともに前年を下回ったことから、合計では前年比で30%ほど減少した。

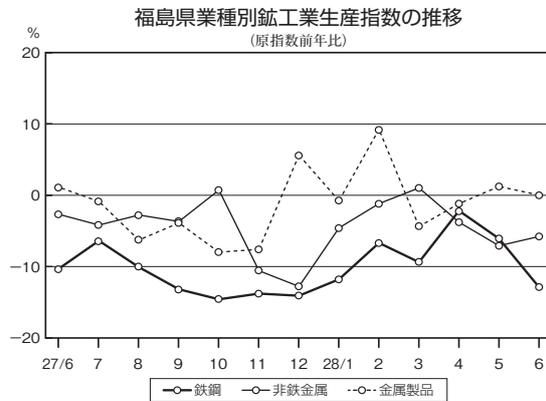
**電子部品・デバイス** 7月のLSI（大規模集積回



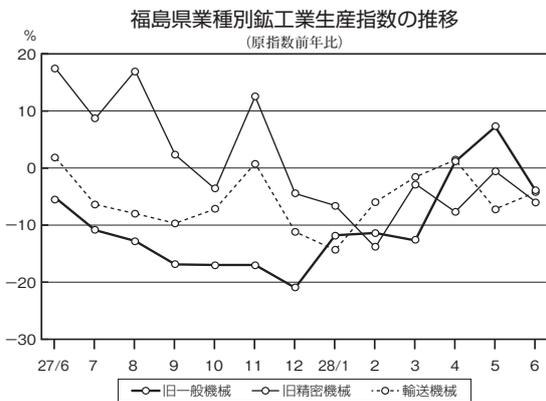
(資料：東日本高速道路(株)東北支社)



(資料：福島県商工労働部空港交流課)



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県企画調整部統計課)

路)の生産は、受注量に回復の兆しが出始め、前年を70%以上上回る水準となった。

**精密機械** 7月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調に推移しており、合計では前年並みの生産水準となった。一方、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量がほぼ横ばいで推移していることから、全体では前年並みの生産水準となった。

**窯業・土石** 7月の生コンクリート出荷量は、全体で171,069m<sup>3</sup>(前年同月比△5.0%)と5ヵ月連続で前年を下回った。民需・官公需別にみると、官公需は県北といわきを除いた4地区が前年を下回り、合計で同△16.0%となった。また、民需も県中、いわき、会津の3地区が前年を下回ったことから、合計で同△2.6%となった。

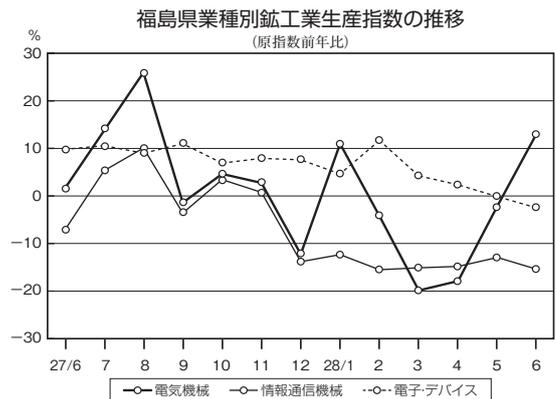
**紙・紙加工品** 7月の製紙は、感熱紙の輸出が伸び悩んだことなどから、合計では前年並みの生産水準にとどまった。

**清酒** 7月の清酒移出数量は、927kL(前年同月比△9.1%)と3ヵ月ぶりで前年を下回った。酒類別では、一般酒(特定名称酒以外の酒)が432kL(同△15.1%)と10ヵ月連続、特定名称酒(吟醸酒・純米酒・本醸造酒)は495kL(同△3.1%)と16ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。

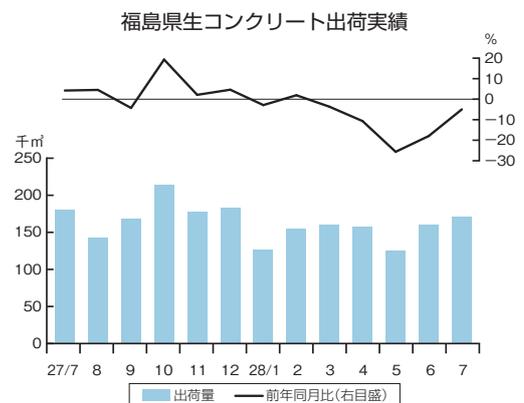
**化合繊維物** 7月の化合繊維物は、生産量が前年を10%以上上回ったものの、単価の低い製品の割合が高いことから、生産額はほぼ前年並みにとどまった。

**ニット** 7月のニットは、秋冬物製品の受注量が増えたことから、生産額は前年を20%ほど上回った。

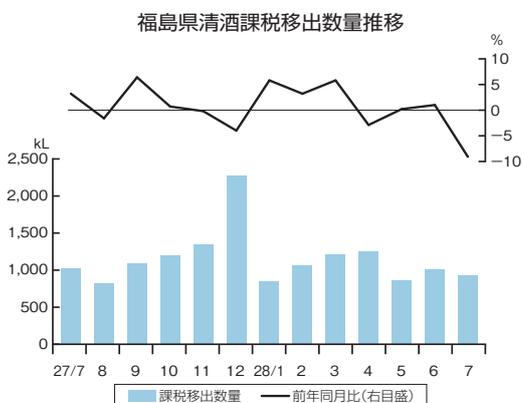
**電灯電力** 7月の電灯電力販売量は、1,088百万kWh(前年同月比△5.2%)となり、2ヵ月ぶりで前年を下回っている。



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)